

# 【 第7回 女子ユース世界選手権 】

2018年8月7日～19日

開催国：ポーランド・都市：キエルツェ

## 試合結果報告 8月9日（木）

JAPAN	VS	ARG(アルゼンチン)
14	前半	10
12	後半	13
	第一延長	
	第二延長	
26	合計	23

### 個人得点

No.	名前	前半	後半	合計
1	千葉 夏希			0
2	橋口 和佳奈	—	—	—
4	辻野 桃香			0
5	阿部 美幸	3	3	6
6	伊藤 愛莉	5	3	8
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	1	2	3
12	榊 真菜	—	—	—
13	抜水 うらら			0
14	平野 宗香	1		1
15	谷藤 悠	2	1	3
16	柿添 まどか			0
17	紅林 詩乃			0
18	江本 ひかる			0
19	宇治村 唯			0
20	守屋 葵		1	1
21	上田 遥歌	2	2	4
	合計	14	12	26

### 戦評

日本の第2戦はアルゼンチンと対戦。アルゼンチンの力強いプレーに圧倒され、警告・退場と劣勢が続く。前半8分50秒2-6と離された所でタイムアウトをとり、DFの修正と確認をおこなった。日本はDFを修正するために、守屋を投入。これが功を奏し相手のミス誘う。またGK・柿添も当たりだし、一気に4連取に成功。23分には9-8と逆転に成功した。攻撃では岡田に対する厚いマークを利用して、伊藤がタイミングをずらしたミドルを要所で決め、相手DFが翻弄されて2人退場し4人に。相手のミスから平野、伊藤、上田、谷藤が速攻で走り、前半を14-10で終える。

後半、相手のNo.4の強烈なランニングシュートが炸裂する。分かっているにもかかわらず止めることができない。少しずつリズムが崩され、日本もテクニカルミスやシュートミスが続き、18分23-17となった所で、相手が2人退場するも得点を挙げることができず、逆に退場者を出すなど、日本に焦りが出始めた。24分23-20とされたところで、チームタイムアウトをとり、攻撃の確認と相手No.4に対するDFの確認を行った。これでリズムを取り戻した日本は、27分過ぎに3回7mTを獲得するが、ことごとく外す。結果26-23で今回初勝利となったが、ゲームの入り方、ゲーム中でDFを修正することへの課題が残った試合であった。

このゲームの日本のMVPは伊藤が獲得した。

報告記入者：

安藤 希沙